

17. 東京大学医学部 (国立)  
The University of Tokyo

[http://www.u-tokyo.ac.jp/index\\_i.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/index_i.html)  
Faculty of Medicine

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

電話03-5841-3385

FAX03-5841-3645

e-mail : [kyomu@m.u-tokyo.ac.jp](mailto:kyomu@m.u-tokyo.ac.jp)

教養課程

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

電話03-5454-6042

FAX03-5454-4309

専門・教養課程所在地間の最寄交通機関による所要時間 約50分

1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）部門を独立して設けている。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は2年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）と専門教育とで常に別々に開催される。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されていない。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物をシラバスという。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらず、すべて1年生に入学する。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは1日間行方が合宿ではない。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1、3年生である。

その期間と内容：

1年生：4日間：全学体験ゼミナール「医学に接する」

3年生：5日間：介護実習

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。コアタイムの時間は

4年生は、平均して週3時間×年間12回である。

自習用に割り当てられている時間は

4年生は、平均して週3時間×年間12回である。

チューターは主として基礎医学系と臨床医学系の教員が行う。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムを多くの部分で採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、行われていない。なお、現行カリキュラムの特色は下記のとおりである。

5、6年生は、ほとんどの期間、臨床実習（クラークシップを含む）を行なう。

K. 今後のカリキュラム改訂は今のところ予定していない。

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

フリクォーターの充実（研究の経験を積みます）

## 2. 選択制について

専門教科について選択制を採用してはいない

## 3. 一般教育（教養）について

- A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。  
一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一緒にいる。
- B. 他大学との単位互換について認めていない。
- D. 一般教育（教養）部門ではほとんどが選択科目である。
- E. 平成19年新入生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生の数は調査していないのでわからない。  
「生物」を履修しなかった学生に対して特別に対応してはいない。
- F. 平成19年新入生にはセンター試験が導入されていた。  
入学者のうち「生物」を選択していた学生は不明であった。

## 4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、全員が  
3年生の時に平均して1週30時間×2週間配属される。  
4年生の時に平均して1週30時間×2週間配属される。

## 5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。  
（44日間）  
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入している。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）  
4年の時、1週6時間で、28週間である。  
5年の時、1週40時間で、34週間である。  
6年の時、1週40時間で、16週間である。
- C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）  
で臨床実習を行っている。  
その期間、実習科目は（不明）である。  
この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。
- E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の  
範囲、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。  
臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。  
そして不合格の場合は、不合格科目のみ再度臨床実習を行う。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については  
マニュアルが刊行されている。  
保険制度に加入している。  
ワクチン接種を行っている。

## 6. 学生の海外における実習について

- A. 学生の海外における実習は臨床実習のみを行う機会がある。  
期間は最長 臨床実習は15週である。

## 7. 評価について

- A. 進級判定が行われるのは2年終了時、3年終了時、4年終了時、5年終了時である。
- B. 成績の記録法は数段階制（優、良、可、不可、A、B、C、Dなど）を採用している。
- C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは講座ごとの試験である。  
 時期は9月から12月まで、期間は10週間（長期休暇期間を除く）である。
- D. 6年生の10月以降には、臨床講義、臨床実習、臨床実習、社会医学講義  
 また、大学による国家試験対策のための特別な講義が行われることはない。
- E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、学生である。  
 自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。  
 その評価結果は昇進などに関係しない。
- F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われたことはない。

## 8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

### A. 教員数（平成19年12月現在）

		教養*	基礎**	臨床***	附属研究施設	その他	合計
常勤 (有給専任)	教授		35	36	5		76
	准教授		26	43	3		72
	講師		20	86	7	3	116
	助教		83		11		94
	その他		21	88	8		117
	合計	0	185	253	34	3	475

非常勤 (客員・無給を含む)	教授		3	2			5
	准教授						0
	講師		264	249		5	518
	助教			1			1
	その他		3	12			15
	合計	0	270	264	0	5	539

\* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

\*\* 基礎は社会医学を含む。

\*\*\* 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。

		教育研究組織に任期設定	
		通常の任期制	年齢型の任期制
		必要な専攻講座分野に任期設定	満55歳の年度から任期設定
助教	5年以内、再任1回のみ可		5年以内、再任1回のみ可 (通常、5年、再任可、1回限り) (60歳の年度末までの任期、 再任の任期は定年までの任期)
講師			
准教授			
教授			

※任期制は平成13年4月1日から施行  
 ※東京大学教員の就業に関する規程により、定年年齢は65歳となっている。  
 ただし、平成16年4月1日から平成19年3月31日までの期間は満62歳、平成19年4月1日から平成22年3月31日までの期間は満63歳、平成22年4月1日から平成25年3月31日までの期間は満64歳となっている。  
 ※特定有期雇用教職員を除く。

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、任意で加入している。

### 9. 学生数(平成19年12月現在)

学 年	総 数	うち 女子 人数	うち学士編入者数	うち今年度留年者 数(今年度のみ)	うち休学者数	うち外国人 留学生	うち 女子 人数
2							
3	106	17		6	4		
4	107	24		9	2		
5	108	16		11	4		
6	104	15		12	3		
合計	425	72	0	38	13	0	0

### 10. 平成19年4月(今年)の医学部受験状況(編入は含まず、1年生のみ)

受験者数563名、合格者数90名、倍率6.3倍

入学者数90名、(定員90名、うち推薦入学者数0名)

入学者の状況：現役58名、1浪20名、2浪5名、その他7名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している

センター試験で理科を何科目課しているか

2単科目

### 12. 平成18年4月(昨年)の医学部受験状況(編入は含まず、1年生のみ)

受験者数615名、合格者数90名、倍率6.8倍

入学者数90名、(定員90名、うち推薦入学者数0名)

入学者の状況：現役60名、1浪22名、2浪4名、その他4名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

B. 編入学者地域わくについて

地域わくは無い。

今後どのように考えていますか。

設定する予定はない

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

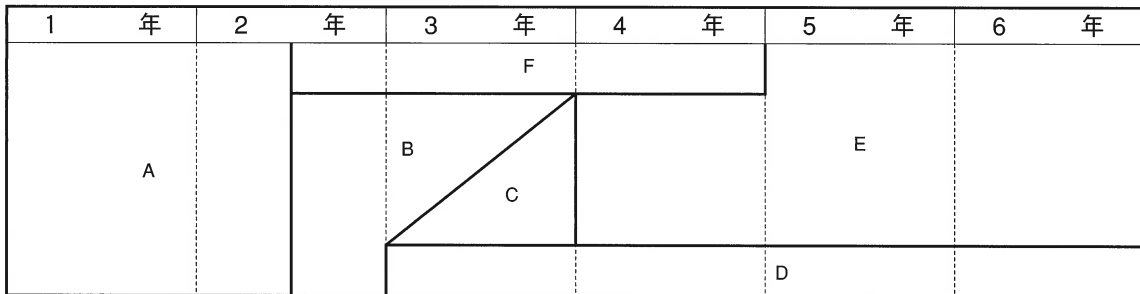
学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL/ チュートリアル
1		○				
2		○				
3		○		550	694	36
4		○		632	299	
5		○				
6		○				

(アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。)

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年ない

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）



(註) A：教養

B：基礎医学

C：★

D：★

E：臨床医学

F：★

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

以下は、これまでの分類です。

A) 基礎医学（生理系）

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
解剖学	38	374	412
{ <ul style="list-style-type: none"> <li>系統解剖学</li> <li>組織学</li> <li>発生学</li> <li>脳解剖学</li> </ul>			0
			0
			0
			0
生理学	108	96	204
生化学	112	72	184
分子生物学			0
Aの合計	258	542	800

B) 基礎医学（病理系）

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
病理学	90	105	195
微生物学	64	36	100
(細菌学・ウイルス学)			0
薬理学	82	48	130
寄生虫学（医動物学）	32	6	38
免疫学	36	6	52
放射線基礎医学	10	16	26
基礎統合講義	30		30
Bの合計	344	227	571

C) 社会医学

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
衛生学	24		24
公衆衛生	36	32	68
法医学	40		40
医療（病院）管理学			0
統計学	12	12	24
社会医学	24		24
医学序論	18		18
人類遺伝学	26		26
実験動物資源学	8		8
医学データ処理概論	20		20
医用工学基礎論	20		20
介護学総論	6	40	46
健康管理学	3		3
Cの合計	237	84	321

## (1) 内科系

授業科目名	講義時間数	実習時間数	週数	合計時間数
診 断 学		132		132
内 科 学	102	470	12	572
小 児 科 学	30	120	2	150
精 神 医 学	14	80	2	94
皮 膚 科 学	12	40	1	52
放射線・核医学	121	80	1	201
臨 床 病 理 学				0
臨 床 薬 理 学				0
臨 床 心 理 学	26			26
内科系の合計	305	922	18	1227

## (2) 外科系

授業科目名	講義時間数	実習時間数	週数	合計時間数
外 科 学	28	240	6	268
整 形 外 科 学	12	56	1	68
脳神経外科学	9	80	2	89
産 婦 人 科 学	22	120	2	142
泌 尿 器 科 学	13	40	1	53
眼 科 学	14	40	1	54
耳鼻咽喉科学	11	48	1	59
麻 醉 科 学	10	40	1	50
形 成 外 科 学	5	40	1	45
口 腔 外 科 学	5	32	1	37
小 児 外 科 学	5	40	1	45
胸 部 外 科 学	11	80	2	91
輸 血 学		24	1	24
外科系の合計	145	880	21	1025

## (3) その他

授 業 科 目 名	講義時間数	実習時間数	週数	合計時間数
総合診療医学				0
リハビリテーション	7	24		31
救 急 医 学	6	40		46
臨床検査医学	5	40		45
症 候 学	43			43
臨 床 薬 剤 学		24		24
医 療 情 報 学	4			4
臨床統合講義	84			84
基礎・臨床・社会医学統合講義	96			96
感 染 制 御 学	30	15		45
手術部感染対策実習		15		15
東 洋 医 学	3			3
その他の合計	278	158	0	436

臨床医学(D)の合計 (内科系+外科系+その他)	728	1960	39	2688
基礎医学・社会医学 の 合 計 (A+B+C)	839	85		1692
専門課程合計 (A+B+C+D)	156	285		4380

## 16. その他の教育内容

独立した科目として授業が行われている科目：

人類遺伝学（臨床遺伝学）（必修）、医用（電子）工学（必修）、医学外国語（必修）、医療安全（必修）、医の倫理（必修）、緩和ケア（必修）、医療経済（必修）、医療情報学（必修）、高齢医学（必修）、在宅ケア・介護（必修）、フリークォーター（選択必修）、研究室配属（必修）、チュートリアル（必修）、クリニカルクラークシップ（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

医史学、行動科学、医療福祉学（医療社会福祉学）、プライマリ・ケア、家庭医学、臨床医学、人間関係学、医療保険

## 18. MD-PhDコースを設置している。

（在籍者は、5名。）